すこやか赤ちゃん通信　　６月15日号

「赤ちゃんのうんち」のお話

　梅雨に入り、一雨ごとに緑がきらめく季節となりました。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今回は「赤ちゃんのうんち」のお話です。

・うんちの色、形状、回数、におい

普段の赤ちゃんのうんちを観察します。

いつもよりも回数が多く水っぽいうんちで、おむつからはみ出すような場合は下痢と考えます。

・おしっこの回数

おしっこはいつもと同じように出ているでしょうか？うんちだけではなく、おしっこの回数が少なく、色が濃い場合は、水分不足かもしれません。

・おしりの皮膚

おむつを長時間交換していない、下痢をしているなど、おしりの皮膚が赤くなるおむつかぶれの状態になります。

・赤ちゃんの機嫌

便秘になる赤ちゃんは多くいます。うんちが何日も出ないと赤ちゃんはミルクの飲みが悪くなったり、ぐずぐずと機嫌が悪くなったりします。下痢の時もうんちが出るたび泣く赤ちゃんもいます。

・医療機関に相談するとき

下痢や便秘の時は医療機関に相談します。

医療機関を受診するときは、事前に電話をして受診します。受診する際はうんちの形状がわかるような写真や、うんちのついたおむつを持っていくとよいでしょう。

・おむつを替えるとき

おむつを交換するときは「きれいにしようね」「さっぱりしたね」など、声掛けしてあげましょう。＜ことば＞と＜おしりがきれいになる感覚＞が結びついて、赤ちゃんの心に「快・不快」の気持ちが芽生えます。

「うんちは健康のバロメータ」と言われるくらい赤ちゃんの状態を教えてくれます。

うんちは「赤ちゃんの健康のバロメータ」であり、「コミュニケーション」です。

パパ、ママたちも楽しみながらお世話できるといいですね。